

1 事業概要

事業名	一般県道 ^{すえ ゆだ} 陶湯田線 交通安全事業		
事業場所	山口市 ^{ゆたおんせん} 湯田温泉 地内		
事業主体	山口県	事業方法	● 国庫補助 ○ 単独
財源・負担割合	● 国 55 % ● 県 45 % ○ 市町 % ○ その他 %		
事業期間	平成 16 年度 ~ 平成 24 年度		
総事業費	2,318 百万円		
事業目的	<p>県道陶湯田線は、一般国道2号との交差点を起点とし、主要観光地である湯田温泉を經由して一般国道9号に至る、地域住民の日常生活・産業活動等を支える重要な道路である。</p> <p>下湯田交差点については、観光客や通勤・通学の歩行者、自転車利用者が多いにもかかわらず、歩道幅員や歩行者のたまり空間が十分確保されていないため、歩行者や自転車利用者は危険にさらされている。</p> <p>加えて、接続する市道は、右折車線がなく、後続車の進行が妨げられていることから、渋滞が発生している。</p> <p>このため、自転車歩行者道を整備するとともに、交差点改良を実施することにより、安全で円滑な道路交通環境の確保を図るものである。</p>		
事業内容	<p>自転車歩行者道設置、交差点改良</p> <p>○延長 L=0.21km</p> <p>○幅員 全幅20.0m (車道9.0m 自転車歩行者道5.0m(両側))</p>		

2 事後評価の視点

(1) 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	
【費用対効果分析】	
【要因変化の分析】	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>交通安全事業は、交通事故を抑止し、歩行者等の通行の安全を確保するために、交差点改良、歩道整備等を実施する事業であることから、費用対効果分析は行っていない。</p> </div>
(2) 事業の効果の発現状況	
【事業の効果の発現状況】	<ul style="list-style-type: none"> 自転車の通行位置を明示した自転車歩行者道の整備により、歩行者・自転車・自動車の通行空間が構造的・視覚的に分離され、歩行者及び自転車利用者の安心・安全な道路交通環境が確保された。 交差点改良（市道への右折車線設置）により、円滑な道路交通の確保に寄与した。
【事業の効果の発現状況に対する評価】	<ul style="list-style-type: none"> 歩行者と自転車利用者の安全性の向上が図られた。 自動車交通の円滑化が図られた。

(3) 事業実施による環境の変化

【変化の状況】

① 自然環境への影響

- ・市街地内の整備であり、自然環境への影響は少ない。

② 生活・住環境等への影響

- ・街路事業と一体的に自転車歩行者道を整備したことにより、住民生活の安全性が向上した。

③ 環境保全対策の効果の発現状況（措置を講じた場合）

- ・車道を排水性舗装^{*1}にすることで、市街地における道路騒音の低減を図った。
- ・歩道を透水性舗装^{*2}にすることで、ヒートアイランド現象の緩和を図った。

(4) 社会経済情勢の変化

【変化の状況】

① 社会経済状況及び事業環境等の変化

- ・商業施設や店舗が立地するなど、周辺の土地利用が活発化している。
- ・湯田温泉の観光客は増加傾向にある。

② 関連計画・関連事業の状況の変化

- ・当事業区間に隣接して、一体的に整備を進めていた街路事業のうち、湯田跨線橋手前までの区間については、平成29年度に整備が完了する予定。

(5) 今後の事後評価の必要性

なし

(6) 改善措置の必要性

なし

(7) 同種事業の計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性

なし

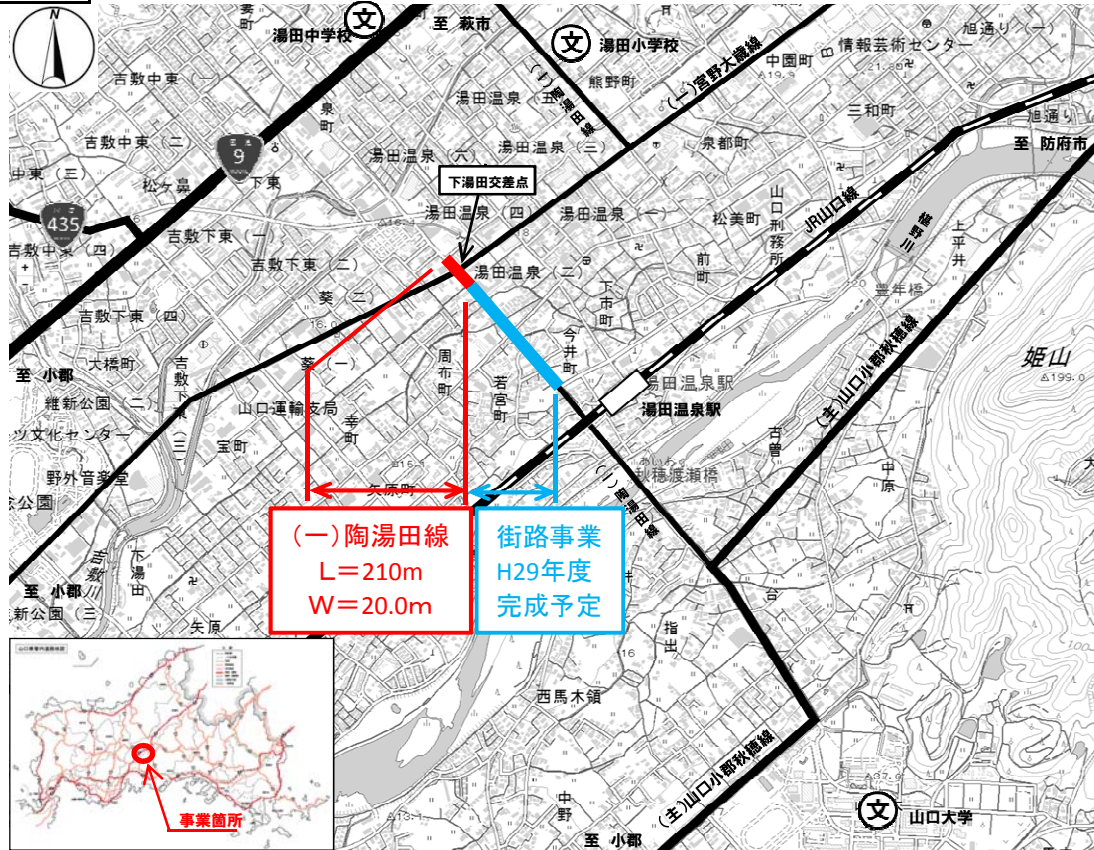
用語説明

※1 排水性舗装 : 上層に空隙の多い舗装材料、下層に遮水層を設けて、路面の雨水を路側に排水する舗装構造。排水性向上のほか、騒音低減効果も期待される。

※2 透水性舗装 : 空隙の多い舗装材料を設けて、雨水が路盤以下に浸透する舗装構造。歩行性、走行性の向上ほか、ヒートアイランド現象の緩和も期待される。

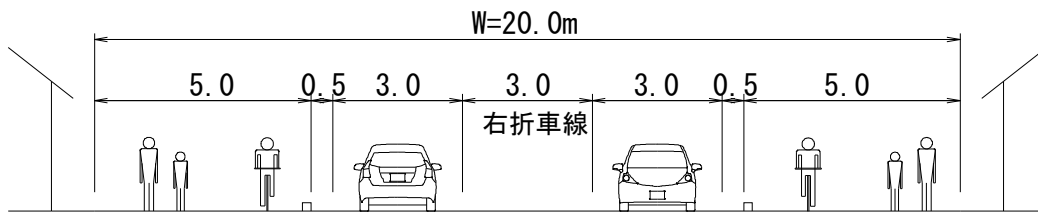
すえゆだ 一般県道陶湯田線 交通安全事業

平面図



※この地図は、国土地理院地図（電子国土Web）の一部を掲載したものである。

標準断面図



写真

